

－ 令和6年度 第15回「議会報告会」の開催状況の報告 －

【 菰崎 】地区

■報告会期日： 令和6年7月22日

■開催場所： 市民交流センター「ニコリ」3階 多目的ホール

■参加者：	<u>菰崎</u>	地区…	(男)	<u>22</u>	人	(女)	<u>1</u>	人	小計	<u>23</u>	人
	<u>藤井</u>	地区…	(男)	<u>1</u>	人	(女)	<u> </u>	人	小計	<u>1</u>	人
	<u> </u>	地区…	(男)	<u> </u>	人	(女)	<u> </u>	人	小計	<u> </u>	人
	<u> </u>	地区…	(男)	<u> </u>	人	(女)	<u> </u>	人	小計	<u> </u>	人
	<u>その他</u>	…	(男)	<u> </u>	人	(女)	<u> </u>	人	小計	<u> </u>	人
		合計	(男)	<u>23</u>	人	(女)	<u>1</u>	人		<u>24</u>	人

(1) テーマ： 黒沢川沿いの安全対策について

黒沢川沿いの道路に昭和60年頃に設置された歩行者・自転車の転落を防止するために設置されている柵の高さが現在国の定める基準より30cm低く「安全・安心」とは言えない状況です。また、地域のボランティアにより腐食した部分の塗装を行ったりしながら景観を維持している箇所もありますが、長年の経年劣化により腐食の激しい箇所や車等の接触による損傷箇所が多く見受けられ景観上好ましくありません。このまま放置して、人が転落し死亡または大けがをすれば、道路を管理する韮崎市が瑕疵により損害賠償請求される事も考えられます。

黒沢川沿いの道路は韮崎駅を中心に南北に延びる生活道路で通勤・通学に多くの歩行者・自転車が利用している道路です。延長約3km、柵の延長はその両側で約6kmとなりますので改修には膨大な予算が必要となりますが、厳しい財政の中ではございますが、地域住民の「安全・安心」に向け毎年予算計上していただき駅周辺など優先順位を決め改修していただきたいと思っております。

(建設課の見解)

黒沢川沿いに設置されている柵の高さにつきましては、転落防止を目的とした標準高さ1.1mではありませんが、河川への歩行者等の横断防止(進入防止)を目的とする「防護柵の設置基準」で示された標準高さ0.7～0.8mの柵が設置されている状況であり、安全対策は図られているものと考えております。また、延長6km以上に及ぶ改修につきましては、莫大な予算が必要となるため現在予定しておりませんが、長年の経年劣化による、腐食の激しい箇所や損傷が激しい箇所につきましては、状況を確認しながら補修等検討してまいります。

No.	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
①	七里岩トンネル手前の一ツ谷交差点の渋滞について。令和3年に測量が開始したが、現在は止まっている。今後の予定が知りたい。	(建設課の見解) 現在国において、事業を進めております。工事着手については、まだ現段階で具体的に決まっておりません。
②	黒沢川の河川清掃について。他地区からも浚渫依頼が来ていると聞いたが。	(建設課の見解) 黒沢川の浚渫や除草については、沿線の各地区より依頼は出ております。
③	黒沢川の草刈りについて。川幅も草が茂り狭まっている。浚渫も含めて早急な対応を依頼する。	(建設課の見解) 地区要望は認知しております。黒沢川は県の管轄であり、令和3年には中田町から中島町まで浚渫工事を行っています。3年経過し、地区要望もある状況なので、改めて、県へ要望しましたが、県からの回答は、堆積土の状況を確認したが、浚渫工事の対象には至らないため、現段階では手が付けられないとの回答でありました。
④	黒沢川の豪雨による市立病院近隣の住宅の床上浸水について。	(建設課の見解) 8月7日の豪雨については、記録的な降雨量であり、予測も難しく、時間帯も夜であった為、市内各所において、道路の冠水や水路の溢水が起きました。9月3日に起こった豪雨時にはすぐに水門の調整を行う事で、一部道路の冠水は起こったものの水路の溢水等は減少させる事ができた思っております。今後ゲリラ豪雨等起こることも予想されますので、市としても、気象情報に注視しながら、耕作関係者及び地元自治会の協力を得ながら、水路の増水を防ぐ対応を行ってまいります。
⑤	市立病院の職員用の駐車場東側の水門が空いていたようで、豪雨であふれていた。1軒の住宅は畳まで水が上がった。	
⑥	韮崎市の地震の震度について。南アルプス市、甲斐市、北杜市と比べて震度が少ない印象だが正確か？	(建設課の見解) 震度計は山梨県設備の為、毎年県の委託業者の保守点検を受けており、正確であると考えています。 また、本市の震度計は市役所に1箇所設置してありますが、周辺3市は合併前の旧町村単位で震度計が設置されており、複数ある震度計の一番大きい震度を公表しております。この差が、本市の震度が少ない印象に繋がっているものと思われます。

No.	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
⑦	水門の管理について。豪雨で2号線が川になった。松屋の西側の住宅が床上浸水した。農政課や農林土木課にも確認したが不明のままである。	(建設課の見解) 水門について調べたところ、地元耕作者において利用しているとのことでした。 今後も、地元自治会及び耕作関係者に台風や大雨時の水門管理についてご協力をお願いいたしました。
⑧	豪雨の時に水門があふれた件について。一ツ谷信号に水門があり、水神町を流れて蕪崎に流れる。先に市で止めておいてくれば、水門が溢れない。管理者も調べてほしい。	(建設課の見解) 蕪崎用水の水門については、基本的に蕪崎市の建設課で管理を行っておりますが、ゲリラ豪雨等の際には、対応が間に合わない場合もございます。 耕作関係者や地元自治会の協力を得ながら、水門の操作が出来るよう、最新の気象情報に注視しながら、対応していきます。
⑨	若宮八幡宮の祭りの神輿は今年は3か所だけであった。7月30日は平日昼間である。市役所職員が地元の自治会の活動をする制度的な改正を希望する。	今後、地域等により継続していくための方策について、検討をお願いしたいと思います。 (秘書人事課の見解) 職員の各自治会活動への参加については、積極的に参加するよう周知を図ってまいります。